

## シンポジウム『第二世代社会インフラに求められる快適性』のご案内 ——「首都高速道路大規模更新報告・提言」を事例に考察する——

生活・社会・経済活動を支えてきた社会資本は、なお、ミッシングリンクの解消や、東日本大震災の復旧・復興および防災・減災対策など緊要な整備が求められる一方、大規模な更新・改修が迫られています。社会資本整備に際しては、機能性、経済性ととも安全性が優先されてきました。この基本は、更新・改修においても変わることはありません。しかし、「急ぎ整備してきた社会資本」に欠けていた快適性、豊かさを加味することも求められる時代を迎えています。

東京オリンピックを契機に建設され、経済成長とともに整備されてきた首都高速道路も、本格的な更新・改修時期を迎え、このほど『首都高速道路構造物の大規模更新のあり方に関する調査研究委員会』から、報告・提言が出されました。

——100年先の未来においても、重要かつレジリエンスの高い道路網であり、国際的都市間競争に打ち勝つための社会資本として、安全であり安心、且つ良質な都市景観を構成する等の快適性も担う、一流の社会資本の条件を備え続けることを期待する——との提言は、広く社会資本全体に共通するものと考えられます。

更新、改修が本格化する時代、換言すれば『社会インフラ第二世代期』の整備方策を改めて検証するシンポジウムを開催します。奮っての参加をお待ちしております。

### 【シンポジウム開催要領】

#### ☆主催挨拶

進士五十八氏(特定非営利活動法人美し国づくり協会理事長、東京農業大学名誉教授)

#### ☆基調講演…『首都高速大規模更新』提言に秘めた想い

涌井史郎氏(首都高速道路構造物の大規模更新のあり方に関する調査研究委員会委員長、東京都市大学環境情報学部教授、岐阜県立森林文化アカデミー学長、美し国づくり協会理事)

#### ☆事例発表…「首都直下地震発生時の首都高の役割と一歩進んだ取組への期待」

丸谷浩明氏(国土交通省国土交通政策研究所政策研究官、特定非営利活動法人事業継続推進機構副理事長)

#### ☆事例発表…「道路における景観配慮とその事例」

並河良治氏(道路環境・道路空間研究所研究理事、美し国づくり協会会員)

#### ☆パネルディスカッション…「社会インフラに求められる景観対策を探る」

コーディネーター 進士五十八氏  
パネリスト 涌井史郎氏

丸谷浩明氏

並河良治氏

宮田年耕氏（首都高速道路(株)取締役常務執行役員）

★開催日時……平成 25 年 6 月 17 日(月)15 時 （受付・開場 14 時 30 分）

★会場……東海大学校友会館（千代田区霞が関 3-2-5 霞ヶ関ビル 35 階）

★入場無料……事前申込が必要です。氏名、所属、電話番号を明記し、FAX＝03-3233-1968 またはメール＝[info@umashi-kuni.com](mailto:info@umashi-kuni.com)で『美し国づくり協会・シンポ係』まで申込んで下さい。定員になり次第締め切ります。

★情報交流会…シンポジウム終了後、「情報交流会・懇親会」を開催します。会費は 3,000 円。参加希望者はシンポジウムと同時に申込んで下さい。会費は当日徴収します。

★主催……特定非営利活動法人 美し国づくり協会

★後援……東京建設業協会、東京電業協会、東京空調衛生工業会

★企画協力……日刊建設通信新聞社